

## 2 一般会計決算の概要

一般会計については、最終予算額 3,942 億 9,200 万円に対し、歳入決算額は 3,691 億 4,900 万円、歳出決算額は 3,673 億 6,600 万円となった。

歳入歳出の差し引き額は 17 億 8,300 万円、翌年度への繰越事業充当財源 5 億 7,100 万円を差し引いた実質収支は 12 億 1,200 万円の黒字となった。

表 1

(単位：百万円)

予算現額	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	歳入歳出 差引額 (A)-(B)=(C)	翌年度へ繰り越 すべき財源 (D)	実質収支 (C)-(D)
394,292	369,149	367,366	1,783	571	1,212

### (1) 歳 入

款別の主な内訳は、表 2 のとおりである。

表 2

(単位：百万円)

区 分	平成 2 4 年度		平成 2 3 年度		増減額 (A)-(B)=(C)	増減率 (%) (C)/(B)
	(A)	構成比 (%)	(B)	構成比 (%)		
市 税	168,968	45.8	170,415	46.3	△ 1,447	△ 0.8
国庫支出金	50,645	13.7	52,218	14.2	△ 1,573	△ 3.0
諸 収 入	49,533	13.4	46,962	12.8	2,571	5.5
市 債	40,429	11.0	39,260	10.7	1,169	3.0
県 支 出 金	12,194	3.3	10,818	2.9	1,376	12.7
地方交付税	8,499	2.3	14,606	4.0	△ 6,107	△ 41.8
繰 入 金	3,185	0.9	433	0.1	2,752	635.5
財 産 収 入	1,712	0.5	971	0.3	741	76.4
そ の 他	33,984	9.1	32,401	8.7	1,583	4.9
計	369,149	100.0	368,084	100.0	1,065	0.3

#### ① 市 税

決算額は 1,689 億 6,800 万円となり、構成比は 45.8%、前年度に比べ 14 億 4,700 万円、0.8%の減となった。

これは、個人市民税が年少扶養控除の廃止等により増額となったものの、固定資産税が評価替えの影響により減額となったことなどによるものである。

② 国庫支出金

決算額は506億4,500万円となり、構成比は13.7%、前年度に比べ15億7,300万円、3.0%の減となった。

これは、生活保護費収入が被保護者数の増加に伴い増額となったものの、児童手当・子ども手当収入が制度改正に伴う支給額の変更等により減額となったことなどによるものである。

③ 諸 収 入

決算額は495億3,300万円となり、構成比は13.4%、前年度に比べ25億7,100万円、5.5%の増となった。

これは、「ちば消防共同指令センター」の整備の進捗に伴い、他団体からの負担金収入が増額となったことなどによるものである。

④ 市 債

決算額は404億2,900万円となり、構成比は11.0%、前年度に比べ11億6,900万円、3.0%の増となった。

これは、退職手当債を発行したことなどによるものである。

⑤ 県支出金

決算額は121億9,400万円となり、構成比は3.3%、前年度に比べ13億7,600万円、12.7%の増となった。

これは、安心こども基金収入が私立保育園の整備拡充に伴い増額となったことなどによるものである。

⑥ 地方交付税

決算額は84億9,900万円となり、構成比は2.3%、前年度に比べ61億700万円、41.8%の減となった。

これは、東日本大震災に係る震災復興特別交付税が減額となったことなどによるものである。

⑦ 繰 入 金

決算額は31億8,500万円となり、構成比は0.9%、前年度に比べ27億5,200万円、635.5%の増となった。

これは、市債管理基金からの借入を実施したことなどによるものである。

⑧ 財産収入

決算額は17億1,200万円となり、構成比は0.5%、前年度に比べ7億4,100万円、76.4%の増となった。

これは、土地売払収入が増額となったことなどによるものである。